

アンケート調査の結果 (7/27～8/20まで)

道総研建築研究本部 佐々木優二



アンケート調査の概要

項目	結果
調査目的	ひまわりまつりの来場者を対象として調査を行ない、ひまわりの里基本計画を検討する上で基本となる情報を整理する。
調査期間	7/27～8/20
配布数	23,601枚
回収数	1,529枚
分析に用いた数	1,437枚（完全無回答を除く）
回収率	6.1%（完全無回答を除く）

Q1. 個人属性

Q2-1. どこから来たか

Q2-2. 来場方法

Q3. 滞在時間

Q4. 知ったきっかけ、来場のきっかけ

Q5. ひまわりまつりに来た回数

Q6. 主な目的地

Q7. 北竜町内で食べたものとその評価、場所

Q8-1. 購入したお土産

Q8-2. どのようなお土産があるといいと思ったか

Q9. 今回のひまわりまつりの評価

Q10-1. 次回もまた来たいと思うか

Q10-2. ひまわりまつりでやってほしい取組

Q11.北竜町のイメージ



結果の概略…速報結果と大きな違いはない

- 子育て世帯や若年層が多い。リピーターは4割程度いる。
- 来場者の多くは札幌から車で来ており、また、滞在時間は平均1.7時間である。
- 口コミでひまわりまつりを知った人、来場した人が多い。
- 食事したもののやお土産に対する評価、満足度は高い。
- 次回のひまわりまつりへの参加意向も高い。
- ひまわりまつりに対する評価は総じて高い。

■主な客層は、40代以下の子育て世帯+若年層（合わせて1,244人（86.6%））である。

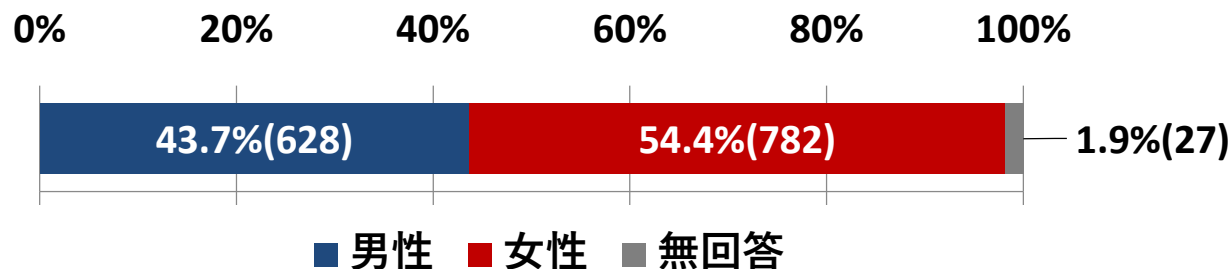
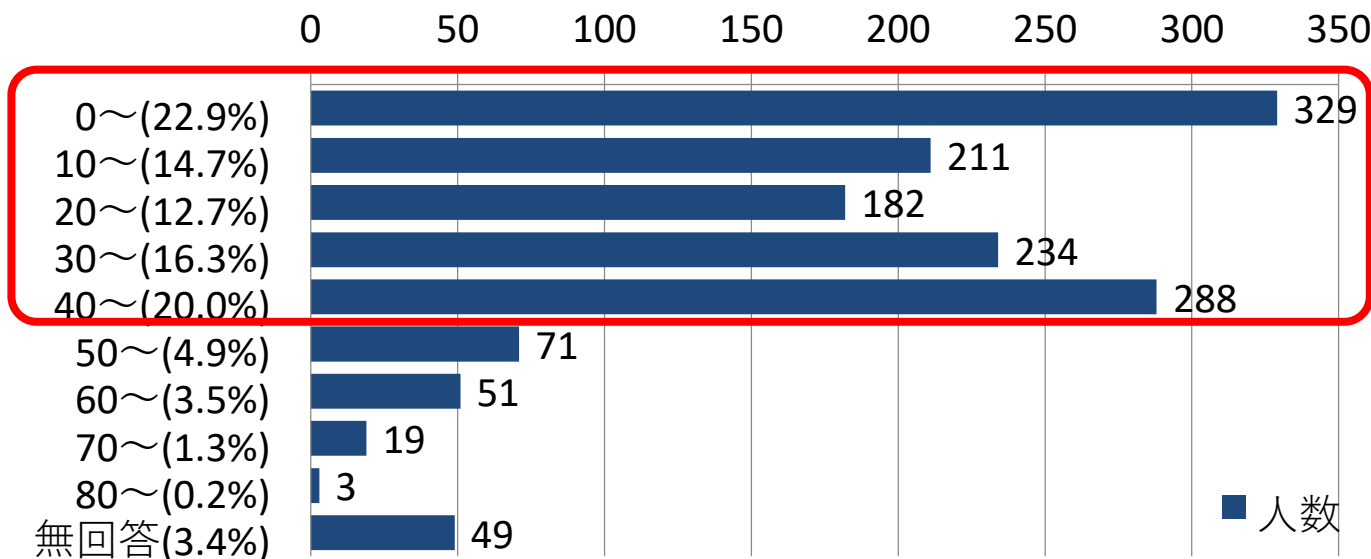


図1. 回答者の性別（N=1,437）



子育て世帯
+
若年層

図2. 回答者の年齢（N=1,437）

来場者はどこから来ているか①

前回説明資料から
大きな変更はない

■道内が76.9%で最も多く、道外が19.0%である。

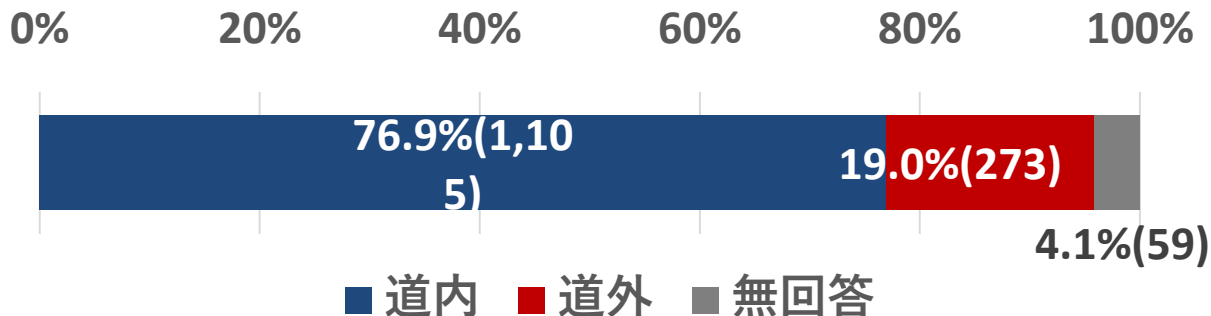


図3. どこから来ているか (N=1,437)

■道内のうち札幌市が最も多く、次いで、旭川市、江別市である。

表1. 道内の内訳 (上位5つ)

市町村名	人数
札幌市	635
旭川市	100
江別市	41
苫小牧市	22
千歳市	21

表2. 道外の内訳 (上位5つ)

市町村名	人数
神奈川県	48
埼玉県	32
東京都	31
愛知県	30
千葉県	30

来場者はどこから来ているか②

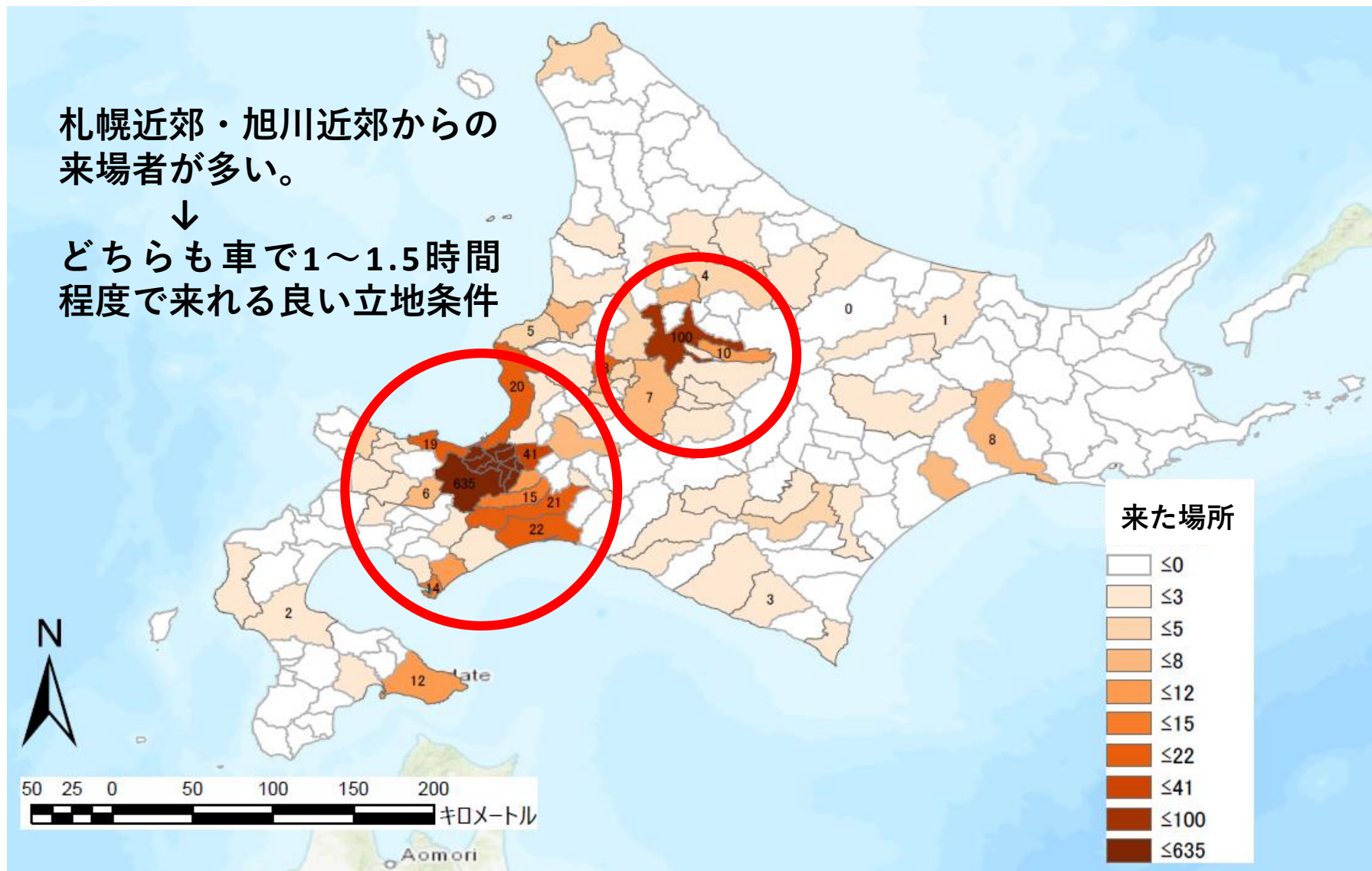


図4. 来場者がどこから来ているか（道内N=1,105、回答がある場合のみ抽出）

■ ほぼすべての来場者が車（自家用車もしくはレンタカー）で来場している。

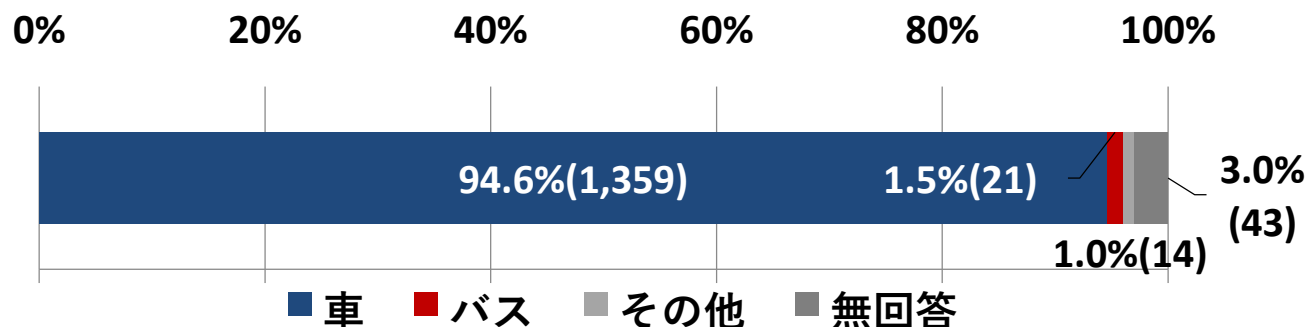


図5. 来場者の交通手段 (N=1,437)

■ 滞在時間は平均1.7時間であり、比較的長く滞在している。

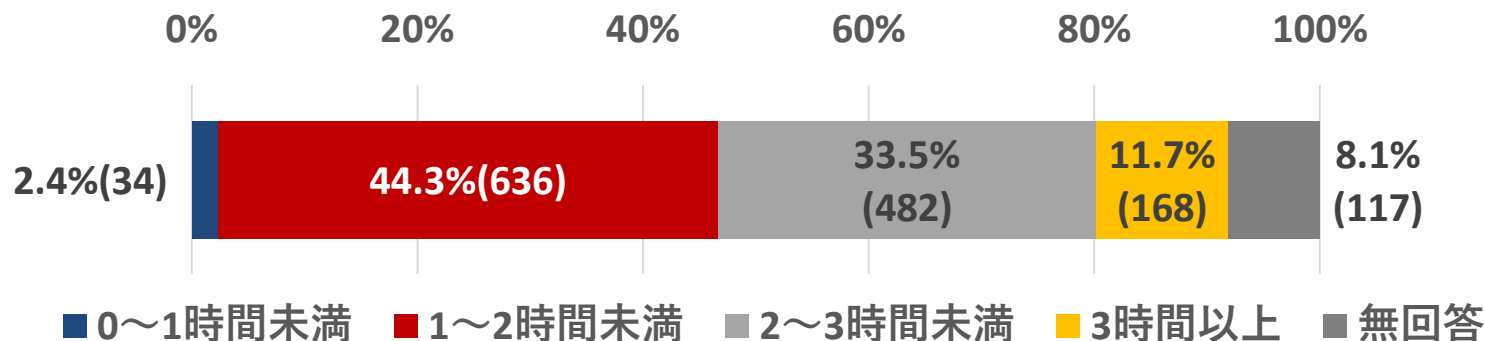


図6. 来場者の滞在時間 (N=1,437)

知ったきっかけ、来場のきっかけ

前回説明資料から
大きな変更はない

- 両方とも「家族・知人」、「前から知っていた」が多く、口コミの影響が大きいと考えられる。

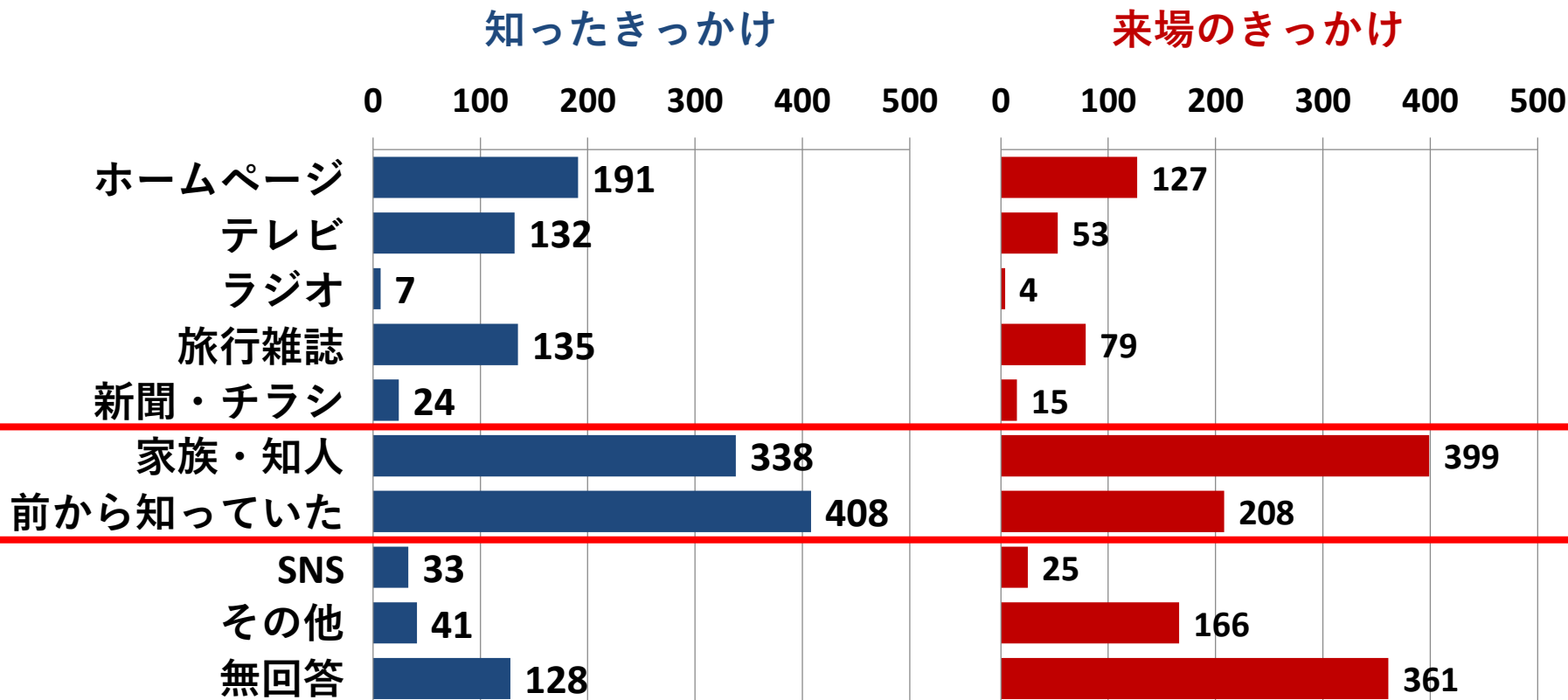


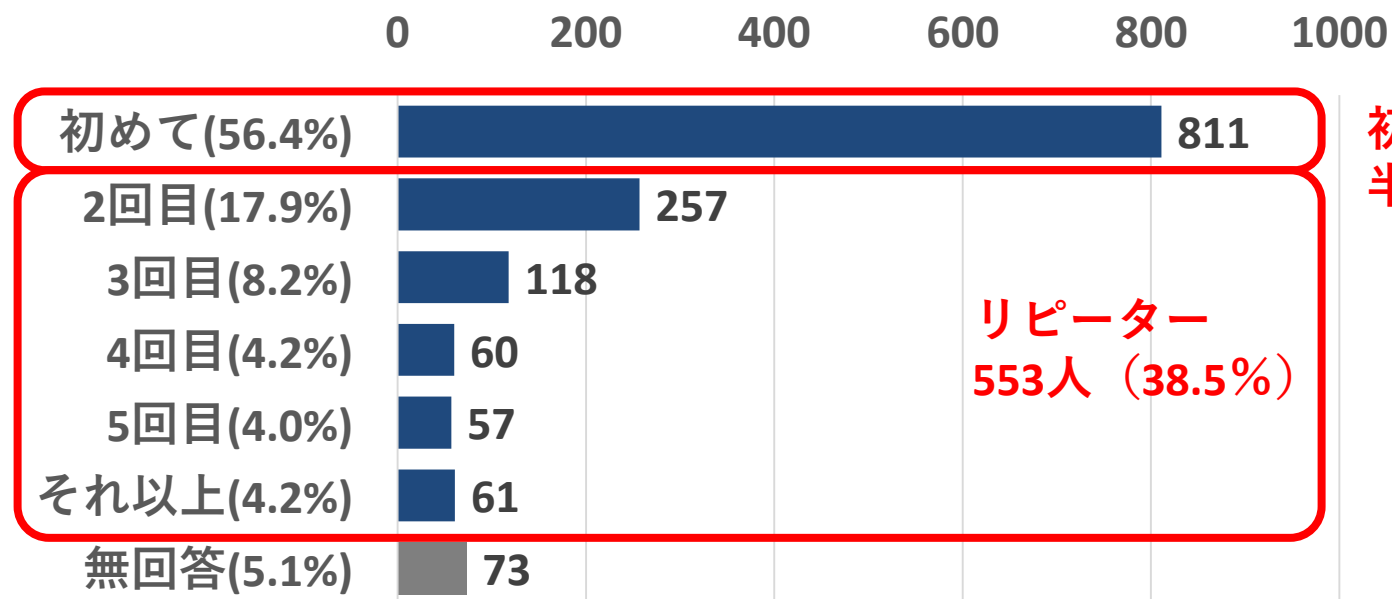
図7. 知ったきっかけ、来場のきっかけ（両方ともN=1,437）

ひまわりまつりに来た回数

前回説明資料から
大きな変更はない

■初めて来た人が56.4%であり、また、2回以上来場している“リピーター”が38.5%いる。

リピーターの割合は全国平均で37.2%であるため※、同程度のリピーターを確保していると考えられる。



初めて来た人が
半数以上である。

図8. ひまわりまつりに来た回数 (N=1,437)

※じゃらんリピーター追跡調査を参照。

<http://jrc.jalan.net/wp-content/uploads/2018/05/researches029.pdf>

■主な目的地は、ひまわりの里が65.3%で最も多い。

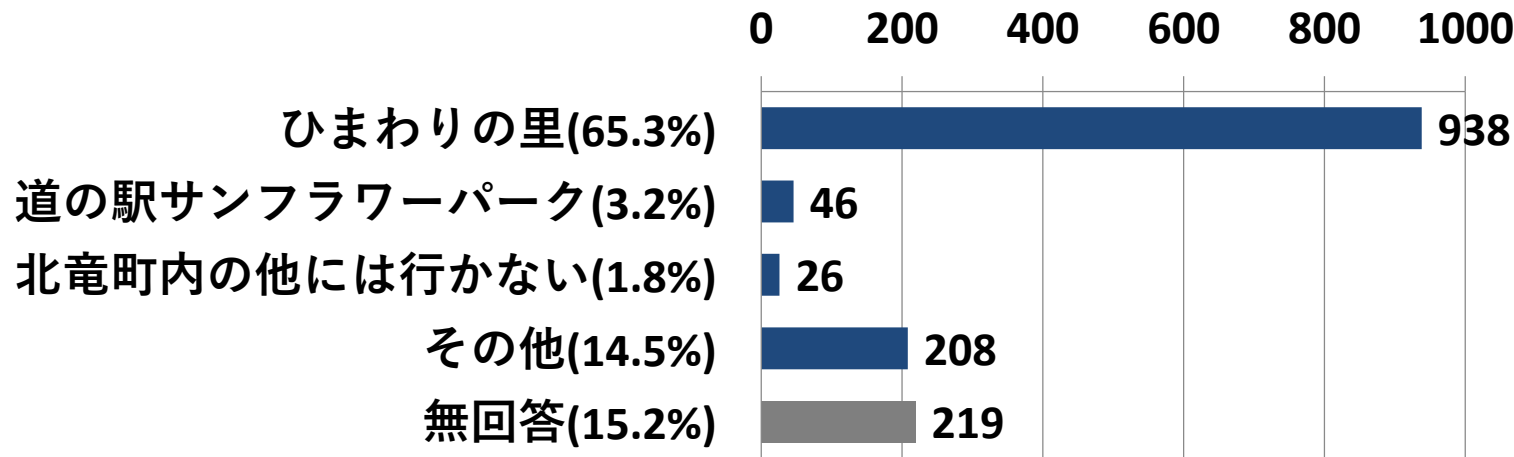


図9. 主な目的地 (N=762)

■その他の目的地は、ほとんどが近隣市町村の観光地である。

表3. その他の目的地 (自由記述) (N=166、完全に重複した回答は削除)

目的地 (市町村)			目的地 (具体の場所)				
留萌	秩父別	利尻	ほろしん温泉	姿見の池	ニニウキャンプ場	しゅまり内湖水祭	海水浴
旭川市	砂川	さっぽろ	ほたるの里	まあぶキャンプ場	赤平炭鉱	層雲峡	キャンプ
滝川	名寄行く途中	わからない	宗谷岬	旭山動物園	ちっくる	天文台へいくため	花火大会
増毛	小平	美瑛	神居古潭	トナム	こどもの国	あしべつ野球サマーキャンプ	
深川	沼田		ふらのラベンダー	砂川こどもの国	キャンプ場	トナム雲海	
ふらの	赤平		道の駅浦臼	勝毎花火	ちっぶべつのゆ	豆電球	

ひまわりまつりでの食事したものの

■北竜町で食事をした人数は600人（41.8%）である。

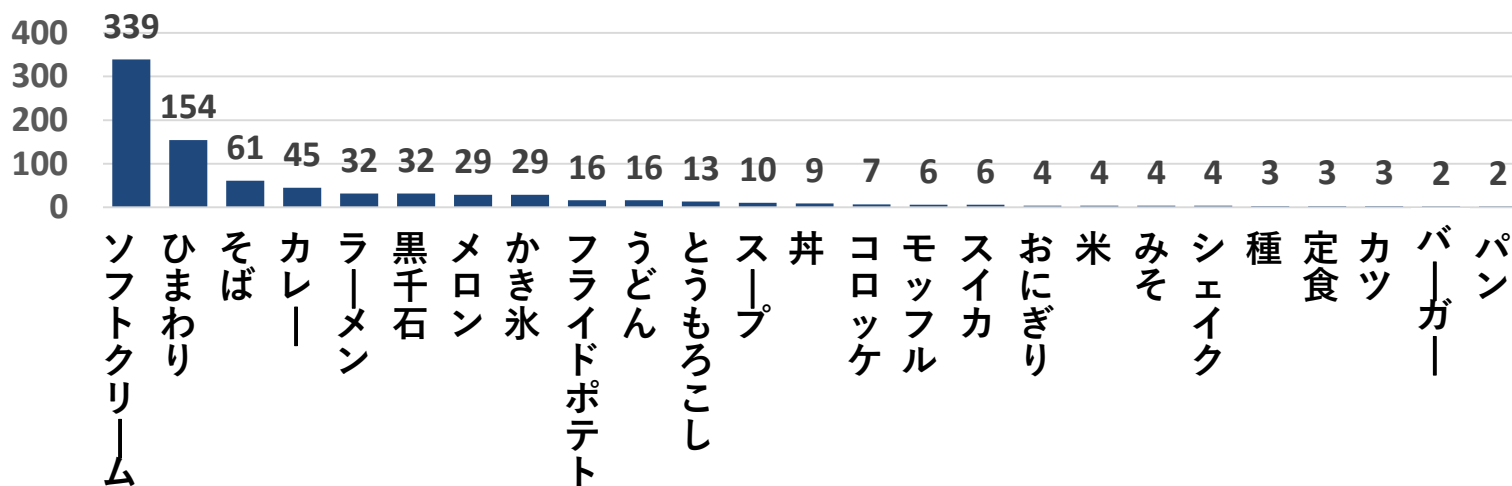


図10. 食べたもの（N=600、回答がある場合のみ抽出、複数回答有）

- 食べたものの評価は平均4.6点である。
- 食べた場所は、ひまわり観光センターが350人（67.8%）で最も多く、次いで道の駅が101人（19.6%）である。
- 北竜町内に昨年できた「お食事処 向日葵」の利用もある。

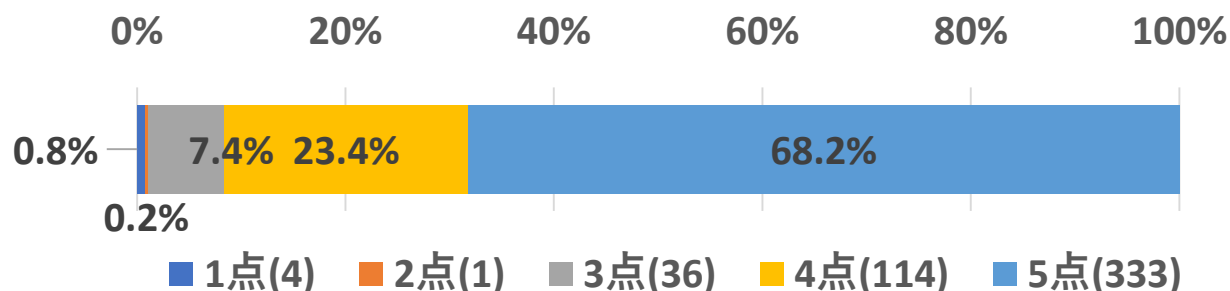


図11. 食べたものの評価（N=488、回答がある場合のみ抽出）

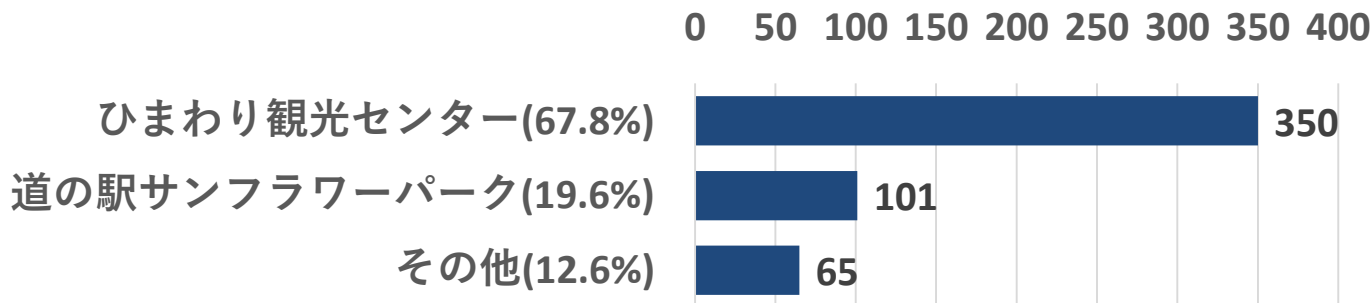


図12. 食事をした場所（N=516、回答がある場合のみ抽出）

購入したお土産

- お土産を購入した人は201人（14.0%）である。
- 購入したお土産の満足度は平均4.6点と高い。

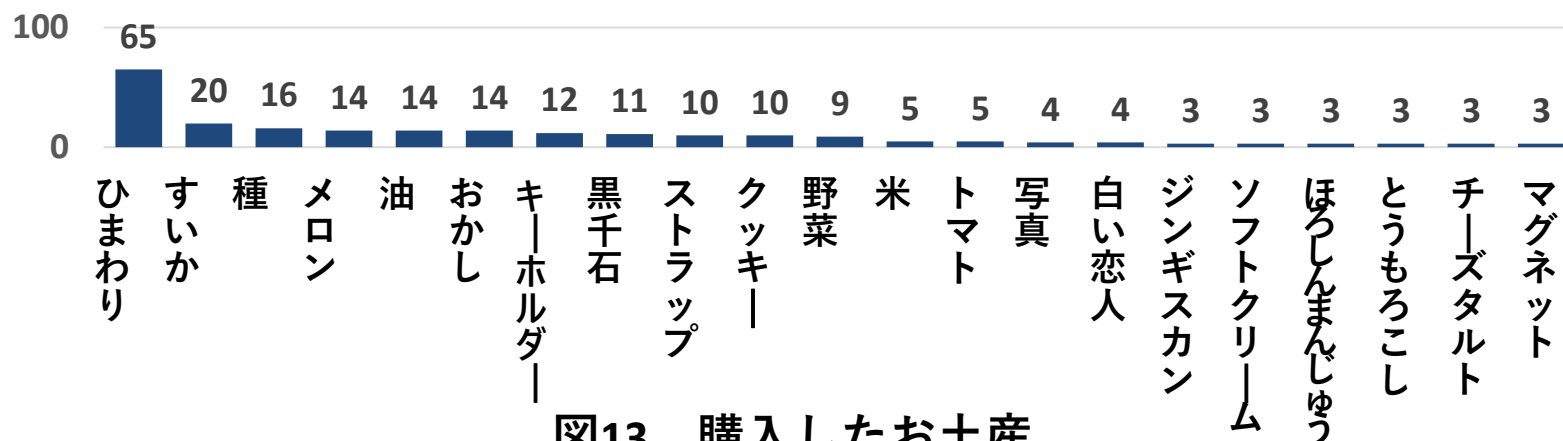


図13. 購入したお土産
(N=201、3つ以上の回答がある単語のみ抽出、複数回答有)

あるといいお土産

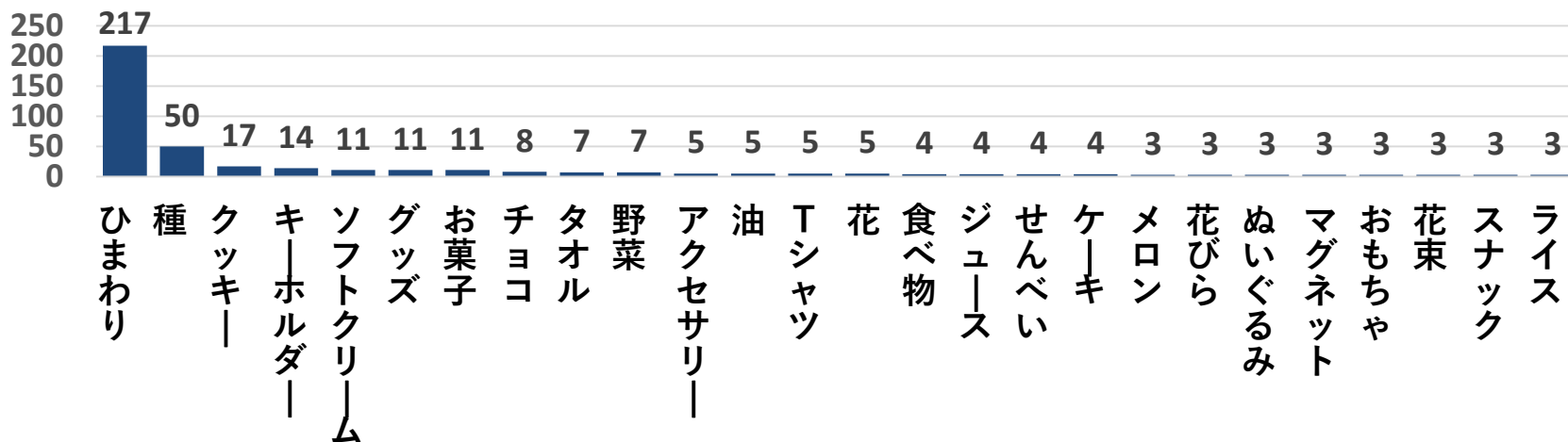


図15. どのようなお土産があるといいと思いますか
(N=278、3つ以上の回答がある単語のみ抽出、複数回答有)

ひまわりまっりの評価

前回説明資料から
大きな変更はない

■ひまわりまっりの評価は、「ひまわりが綺麗だった」が1,127人（87.0%）で最も多く、次いで、「迷路が楽しかった」が841人（64.9%）である。

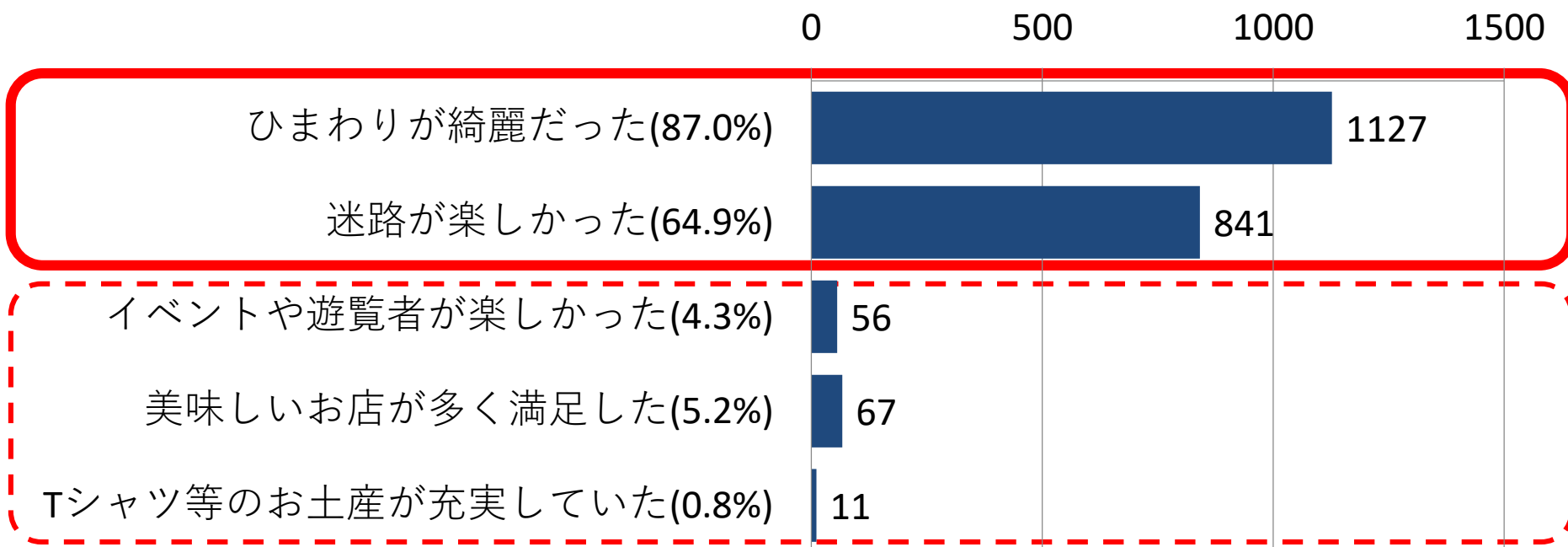


図16. ひまわりまっりの評価（複数回答）（N=685、1つ以上回答した人数）

北竜町のイメージ

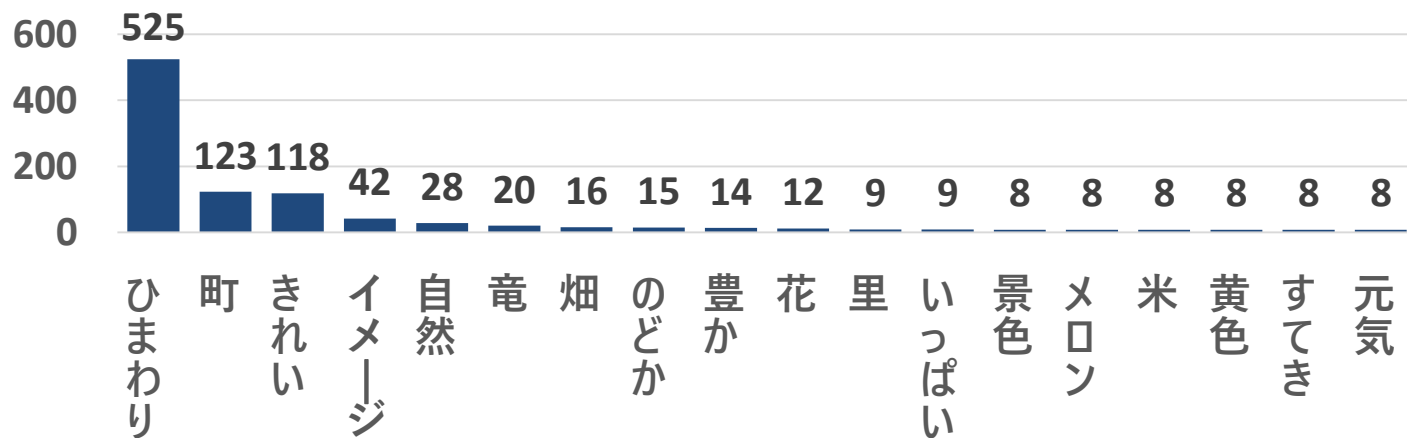


図16. 北竜町のイメージ
(N=742、8つ以上の回答がある単語のみ抽出、複数回答有)

ひまわりまつりで今後やってほしい取り組み

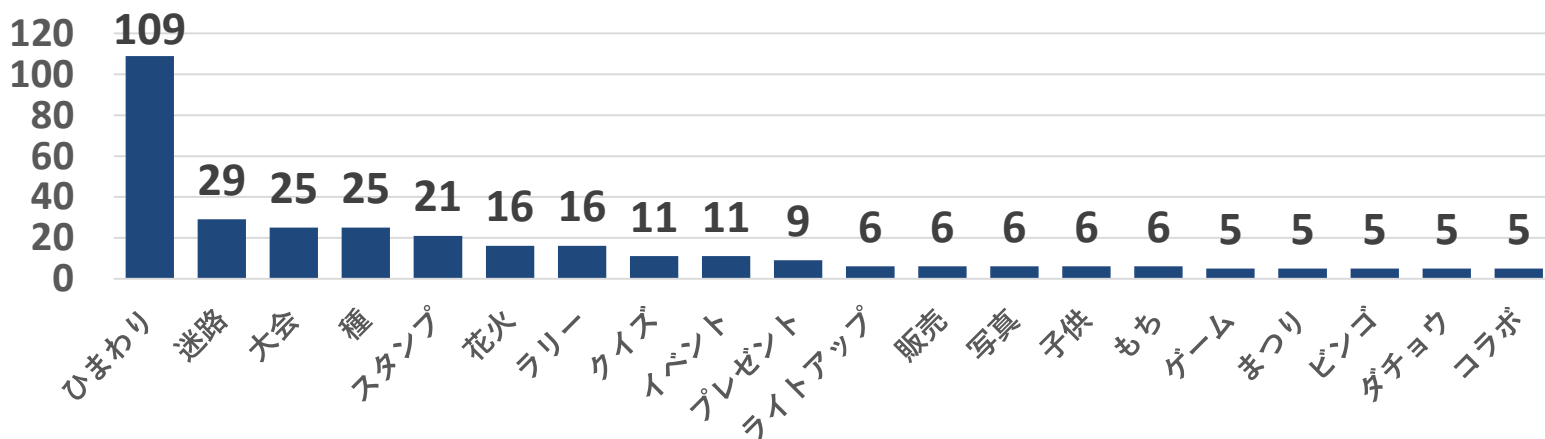


図17. ひまわりまつりで今後やってほしい取り組み
(N=293、5つ以上の回答がある単語のみ抽出、複数回答有)

次回もまた来たいと思うか

前回説明資料から
大きな変更はない

■ 「次回もまた来たいと思うか」は、「とても思う」と「思う」が合わせて1,248人（86.8%）で、「思わない」と「全く思わない」を合わせた7人（0.5%）よりも多い。

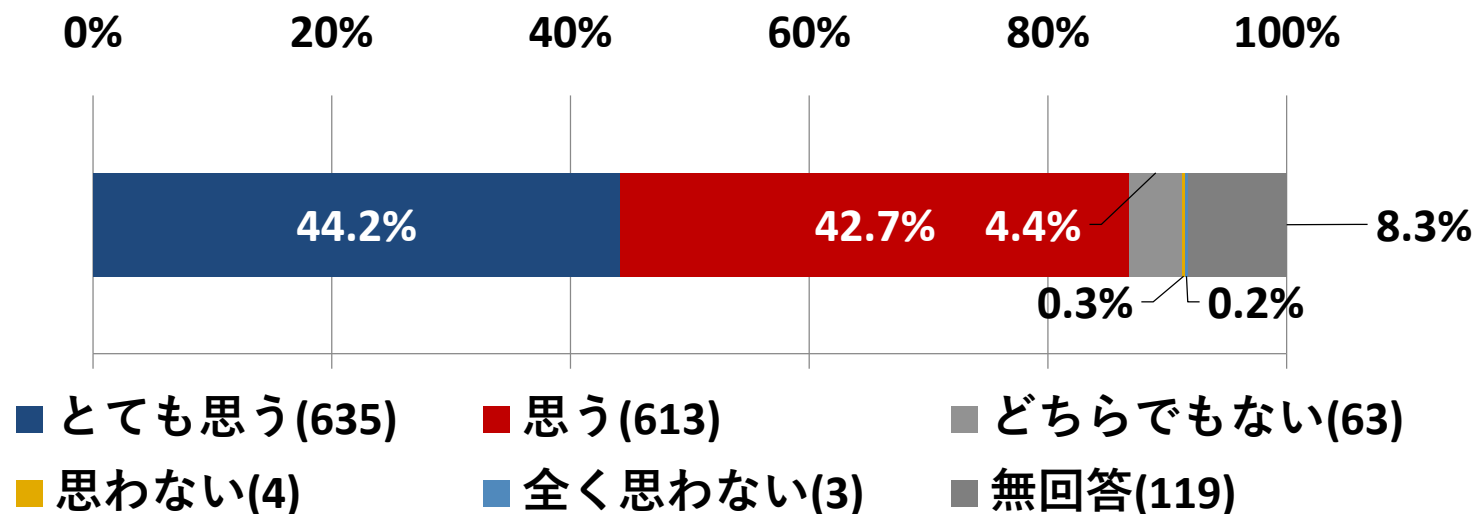


図18. 次回もまた来たいと思うか（N=1,437）

まとめ

- 来場者の多くは札幌から来ており、また、滞在時間は平均1.7時間と比較的長い。
- ひまわりまつりや食事したもの、お土産に対する評価、満足度は高い。また、ひまわりまつりへのリピート意向も高い。

課題

- 滞在時間が長いが食事をした人は全体の4割程度であり、またお土産を購入した人も全体の2割程度である。
- 「イベント」や「美味しいお店」、「お土産の充実」の評価が低い。

将来的に検討の必要がある”まちづくりの視点”

■ 移住者・起業家の呼び込みによる

北竜町の“新たな価値”づくり

→ex)厚真町：ローカルベンチャースクール

北海道：移住ドラフト会議など

丸森町（宮城県）：まるまるまるもりプロジェクト

■ 北竜町の価値やまちづくりに共感し、

応援してくれる人の募集

→ex)東川町：ひがしかわ株主制度

東川オフィシャルパートナー制度（法人向け）

北海道：関係人口創出・拡大事業

**他の市町村がやっていない、
まちづくりの新たな視点が必要**